



河東地域シンボルマーク

災害への備えに

令和7年1月発行 河東地域づくり委員会総務部会

# 自主防災組織をつくろう!

大規模な災害時は、消防や警察、自衛隊などの「公助」に限界があります。そのため、「自分の命は自分で守る＝自助」と「近隣住民同士が協力して助け合う＝共助」が必要になります。

河東地域づくり委員会では、河東地域づくりビジョンにかかげている「安全・安心で快適に暮らせるまちづくり」を実現するため、**災害時に地域の皆さんが協力して自発的に防災活動ができるように、「自主防災組織」の設立を支援します。**

## 補助金の活用例



地域の防災マップや普及啓発資料の作成



防災訓練などの実施



資器材や備蓄品などの購入

## 設立のメリット

自分たちのまちを  
自分たちで守れるよう

自主防災組織をつくると  
市からの補助金の活用により  
活動を充実させられます

詳しくは別紙チラシ「**会津若松市自主防災組織支援事業補助金**」をご覧ください。

## 設立した町内会の声

(島町内会 令和5年6月設立)

### 災害が「他人事」から「自分事」へ



島町内会 前区長  
大竹 秀樹さん

以前は、心のどこかで「災害はどこか遠い所の特別な事＝他人事」のように考えていました。

しかし、令和4年8月に市内で唯一、当地区を対象に警戒レベル3の高齢者等避難情報が出ました。

実際に避難した世帯もあり、身近なところでも起こりうることを自覚し、災害が「他人事」から「自分事」に変わりました。

町内会への説明の際は、活動のイメージがわからず、他の町内会の資料を参考にさせていただきました。

そして、少ない人数、特に若い人が少ない中で、役割分担をどうするかを相談していきました。

最初は形から入って、まずはやってみて、その中で問題が出たら柔軟に変えていくことが大事だと思います。

### 今後もさまざまな取り組みをしたい



島町内会 現区長  
新井田 貞義さん

設立後は、町内の災害発生リスクや避難時の危険箇所を現地確認してまとめた避難マップを作り、集会所に掲示しました。

また、各家庭で使ってもらえるよう、非常持出品を入れる袋を配布しました。

さらに、協力いただける世帯では、台風接近による水害を想定した「避難行動計画」を作りました。

令和6年11月には、初めての避難訓練を実施しました。

今後は、避難訓練を継続し、令和5年に作成した避難マップの縮小版を各戸へ配布したり、避難場所を明記した看板を町内数カ所に立てたりしたいと考えています。

町内会での設立の流れは **裏面をご覧ください** ➡

# 設立の流れ

「自主防災組織」を設立する際は、町内会の皆様のご理解とご協力が欠かせません。  
自主的に、無理なく、継続した活動を実施していくためには、よく話し合うことが大切です。

町内会からの  
依頼があれば、

市の防災担当職員が皆さんの地域に伺います。  
市危機管理課 消防防災グループ 電話 39-1227

詳しくは別紙チラシ「防災出前講座」をご覧ください。

## 検討スタート

自主防災組織の設立を町内会で検討しよう

### 町内会の動き

### 市危機管理課

1

町内会役員による検討

必要に応じて職員を派遣

2

町内会役員  
+  
町内会内の各種団体 } 合同での  
検討  
● 民生委員、消防団、老人会、育成会 など

防災出前講座

3

町内会総会

4

実践

活動例

- 危険箇所の点検
- 避難訓練
- 防災資器材の整備 など



そな うえ  
備えあれば 憂いなし

発行・問い合わせ

河東地域づくり委員会総務部会（事務局：河東支所まちづくり推進課）

電話 0242-75-2113 / FAX 0242-75-3158

メール kawahigasi2013@gmail.com



河東地域イメージキャラクター 皆鶴姫